

光和コンピューター 「IT導入支援事業者」に 経産省の補助金制度、書店も対象

光和コンピューターの主力サービスであるITツールがこのほど、経済

産業省の「IT導入補助金補正サービス等生産性向上IT導入支援事業のIT導入支援事業者」として採択された。

導入支援を受ける光和コンピューターのサービスは、書店向けのレジシステム「セルフPOSレジシステム」、バックヤードシステム「Book Answer4」、30

0社以上の出版社に導入実績がある基幹システム「販売管理(取次・直販)システム」、「出版ERPシステム」、電子書籍の売上管理と印税計算をシステム化した「電子書籍管理システム」、適正原価の管理ができる「資材原価管理システム」、サイト構築ソリューション「出版社・書店向けW

EB ECサイト」など。この補助金制度は、中小・小規模事業者を対象として、「働き方改革」などに対応するための設備投資・販路開拓支援対策。書店も応募できる。

ITツールを導入するための経費の一部を補助することにより、生産性向上を図ることを目的としている。

さらに、新型コロナウイルスの影響を乗り越える前向きな投資を行う事業者向けに、「通常枠」より補助率を引き上げた「特別枠(C類型)」も設けられた。

率2分の1以内で上限額150万円未満、下限額30万円。通常枠(B類型)はソフトウェア費、導入関連費で、1件あたりの補助金は、補助率2分の1以内で、上限額450万円以内、下限額150万円。

また、特別枠(C類型)は、C類型1とC類型1・2に区分されている。

C類型1の1件あたりの補助金額は、補助率3分の2以内で上限額450万円以内、下限額30万円。「サプライチェーンの毀損への対応」のみ導入が要件となる。C類型1・2の1件あたりの補助金額は、補助率4分の3以内で上限額450万円以内、下限額30万円とされており、

「非対面型ビジネスモデルへの転換」、「テレワーク環境の設備」のどちらか一つ以上導入が要件となる。

交付申請期間は今年12月下旬まで。直近の締切日は、7月10日(金)の午後5時。光和コンピューターは、これらの申請のサポートをする。